

2025 年 4 月 1 日

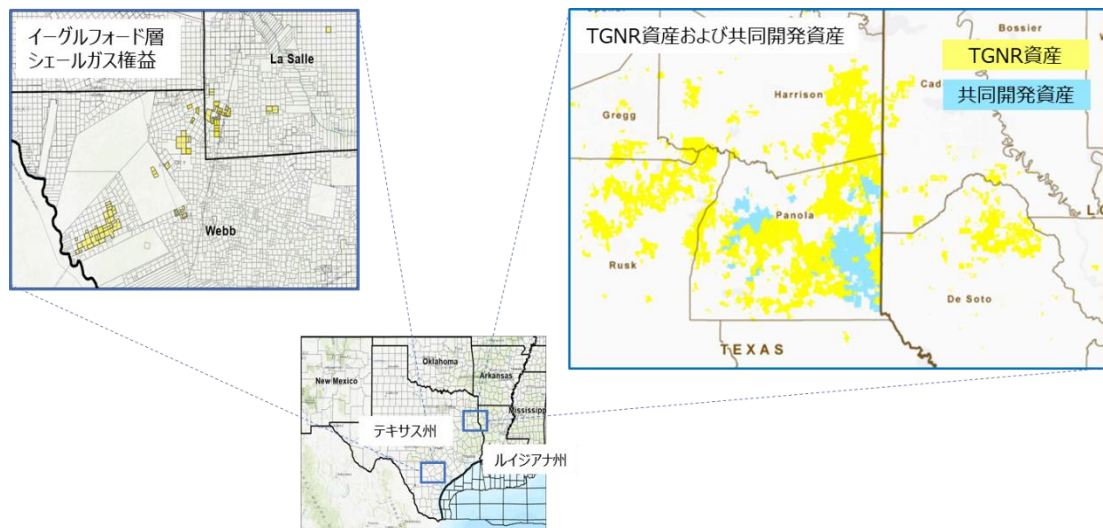
米国におけるエネルギーバリューチェーン構築による収益拡大に向けた シェブロン社とのシェールガス共同開発契約締結

東京ガス株式会社
東京ガスアメリカ社

東京ガス株式会社（社長：笹山 晋一、以下「東京ガス」）は、このたび、100%子会社の東京ガスアメリカ社が出資する TG ナチュラル・リソーシズ社（以下「TGNR 社」）を通じて、シェブロン社（以下「CVX 社」）と東テキサス地域におけるシェールガス共同開発契約（以下「本契約」）を締結しました。

本契約は、TGNR 社の主要資産^{*1}に隣接する CVX 社のシェールガスの資産（以下「本資産」）を、CVX 社と共同で開発^{*2}・操業するためのものです。TGNR 社は CVX 社保有資産の 70%の取得対価として、先行して 75 百万米ドル、開発に応じて複数年かけて段階的に 450 百万米ドルを支払うことで、TGNR 社のキャッシュフロー内で資産を取得します。本資産は、高い利益率が見込めることに加え、開発余地を有するため、米国におけるシェールガス事業の資産効率向上に貢献しつつ、シェールガスを 20 年以上にわたり供給することを可能とします。

なお、本契約締結は、静岡ガス株式会社への 130 百万米ドルでのイーグルフォード層シェールガス権益の譲渡^{*3}も含め、東京ガスの資産効率向上を目的とした資産ポートフォリオ見直しの一環で取り組んでいるものです。



東京ガスは、今後もシェールガス資産のポートフォリオの見直しを行いながら、米国でシェールガス事業を起点としたエネルギーバリューチェーンを構築していきます。本資産の取得により、TGNR 社の主要資産周辺に開発・操業エリアを集約することで、コストダウンシナジーを創出し、さらに価格競争力のあるガスを供給することが可能です。

今後、コモディティ価格変動の収益影響を緩和するため、安定的なエネルギー販売先の確保など中下流領域へ事業を拡大することで、収益を安定化させていきます。これらの取り組みにより米国におけるエネルギーバリューチェーン全体で収益拡大・安定化を一層加速していきます。

東京ガスはグループ経営ビジョン「Compass2030」で「LNG バリューチェーンの変革」を掲げています。米国におけるシェールガス事業の資産効率向上を進め、天然ガス・LNG バリューチェーンの構築を通じ、LNG トレーディング事業等の更なる成長や日本をはじめ各国へのエネルギー安定供給に貢献していきます。

*1：主に 2023 年 12 月に取得した資産。

[米国テキサス州・ルイジアナ州における天然ガス開発・生産事業会社「ロッククリフ・エナジー社」の全株式取得について（2023 年 12 月 16 日発表）](#)

*2：シェールガスが埋蔵するエリアを掘削し、新たにシェールガスの生産を可能な鉱区とすること。

*3：[米国テキサス州におけるイーグルフォード層シェールガス権益の譲渡に関する静岡ガスとの基本合意書締結（2025 年 2 月 21 日発表）](#)

<TGNR 社の概要（資産取得後）>

会 社 名	TG Natural Resources LLC
設 立 年 月	2017 年 4 月
本 社 所 在 地	米国テキサス州ヒューストン
社 長	Craig Jarchow
資 本 構 成	TG イースト・テキサス・リソーシズ社（東京ガスアメリカ社の 100%子会社）：約 93% CCI US アセット・ホールディングス社（CCI の 100%子会社）：約 7%
事 業 概 要	テキサス州およびルイジアナ州におけるヘインズビル層・コットンバレー層他の天然ガス開発・生産事業
鉦 区 面 積	約 1,820 km ² （約 450,000 エーカー、東京都の約 8 割）
生 産 量	約 1,200 百万立方フィート/日

<東京ガスアメリカ社の概要>

会 社 名	Tokyo Gas America Ltd.
設 立 年 月	2013 年 2 月
本 社 所 在 地	米国テキサス州ヒューストン
社 長	藤井 英一郎
資 本 構 成	東京ガス 100%
事 業 内 容	米国事業への投資および運営管理

以上